

発議案第12号

北朝鮮による核実験に対し断固抗議する決議について

北朝鮮による核実験に対し断固抗議する決議を別紙のとおり行う。

平成28年9月16日

提出者	上越市議会議員	宮崎政國
賛成者	同	波多野一夫
同	同	杉田勝典
同	同	江口修一
同	同	橋爪法一
同	同	近藤彰治

## 北朝鮮による核実験に対し断固抗議する決議

去る9月9日、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は、5回目の核実験を実施し、核弾頭の爆発実験に成功したと発表した。

北朝鮮は、前回の実験から1年も経たない中で再び核実験を強行し、この間も弾道ミサイルの発射を幾度となく繰り返す暴挙は、我が国を始め、アジア・太平洋地域の平和と安全を脅かすものであり、国際社会全体に極めて深刻な危機を及ぼし、重大な不安を与える許しがたい行為である。断じて容認することはできない。

我が国を始めとした関係諸国、そして国際社会が、これまで北朝鮮に対し、一連の国連安全保障理事会決議等の完全な遵守を求め、核実験の実施や弾道ミサイルの発射等の行為を行わないよう強く求めてきたことに明らかに反するものである。

よって、世界の人々との友好の絆を強め、すべての国のあらゆる核兵器が速やかに廃絶され、恒久平和が確立されることを強く願い「非核平和友好都市宣言」を議決した議会として、北朝鮮が一切の核実験及び核開発を中止し、直ちにすべての核兵器及び核計画を放棄することを強く求めるとともに断固抗議する。

また、日本政府においては、我が国の平和と安全の確保、国民の安全安心に万全を期し、引き続き国際社会と連携・協力のもと、北朝鮮に対して核兵器の放棄、弾道ミサイル開発の断念、拉致問題の早期解決を求めるなど、毅然とした措置を講じるよう強く要望する。

上記決議する。

平成28年9月16日

上 越 市 議 会